

横浜市立

ろう特別支援学校



令和8年度学校便り No. 6

ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

「アトム+鉄人+レオ < サファイア」

特別支援教育コーディネーター 橘高敏也

短期記憶に自信がない、ということに自信のある今日この頃の私ですが、小さい時のことはよく覚えています。

私が小学校に上がった頃、友達数名と近所の駄菓子屋に行きました。当時放映していたアニメの絵のついたカードのようなものが売られていて、一緒にいた近所の「おばちゃん」が「買ってあげるよ」と言ってくれたので、お言葉に甘えて各々が好きなものを一枚ずつ選びました。まわりの友達が皆「鉄腕アトム」とか「鉄人28号」とか「ジャングル大帝」とかのカードを選ぶ中、私が選んだのは「リボンの騎士」のカード。

私は「リボンの騎士」の主人公サファイア姫が大好きでした。天使のいたずらで男女ふたつの心をもって生まれ、さらに王位継承権の問題とかさまざまな理由で王子として育てられたワケあり王女様、なんていう設定は後から知ったことで、当時の私は「本当は女の子なのに男の格好をしている」というだけでなんかカッコイイ!と思っていたのです。

でもその時の「おばちゃん」のひと言。

「あんた、男の子なのにそんなのが好きなの？」

当時のことですから「ジェンダー」なんて言葉は当然影も形もなく、「おばちゃん」に悪気があるはずはありません。というより時代的にはこちらが「正しい」。でも子ども心に自分の好きなものをそのまま受け入れてはもらえなかった悲しみや悔しさ、不安は残り、こんな些細なひと言であっても今でも何かの折には思い出してしまう。これは事実。

育った環境、時代背景などによって人それぞれ考え方は違います。今まで正しいと思っていたことの価値観が時代とともに変化していき、すぐには対応できない、そんなこともあるでしょう。でも、納得できなくても尊重はできるかもしれない。

「自分とは違うけれど、あなたはそういう考え方なんだね」。

周囲に迷惑をかけない限りにおいて、自分の好きなものを堂々と好き、と言える。

月並みですが、そんな世の中がいいな、と思います。

各部のお便りから

ー 各学部を取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップしてご紹介します ー

乳幼児教育相談

<子どもたちと活動>

乳幼児教育相談では、集団活動と個別活動を行っています。集団活動では、まず、登校して、お母さんと一緒にシールを貼ったりします。その後は自由遊びで好きなおもちゃを見つけて遊びます。次に、朝の会をします。名前を呼んだり、歌を歌ったり、体操（ダンス）をしたりします。そして、設定あそびはみんなで同じ遊びをします。水あそびやえのぐあそび、楽器あそび、小麦粉粘土など、さまざまな遊びをお母さんと一緒に楽しめます。

楽しかった経験は、こどもの心を動かします。「もう1回やりたい」など、気持ちを引き出して、話かけていきます。また、「いやだ、やりたくない」気持ちも表せるように、大事にします。親子で楽しくコミュニケーションをとっていきましょう。

（「おたより」より引用）

幼稚部

しとしとと雨の日が続き、ひと雨ごとに秋の深まりを感じる季節となりました。外での活動ができない日が続きますが、子どもたちは室内でままごとやどろけいなどをして楽しく遊んでいます。天気が回復したら、トンボをつかまえたり、落ち葉集めをしたりしながら、秋を感じたいと思います。また、気温や服装の変化、秋の食べ物などもこの機会に取り上げ、季節について意識を向けていけたらと思います。ご家庭でも秋を感じるものについて、ぜひお話してみてください。夏休み明けに植えた「かぶ」の種が発芽しました。クラスで取り組んだ劇遊び「おおきなかぶ」みたいに大きく成長するよう、子どもたちとお世話をしていきたいと思います。

前期が終わり、いよいよ後期が始まります。後期は「ときわ祭」があります。台詞や動き、ダンスなど覚えることが増えると思いますが、楽しく取り組めるよう支援していきたいと思います。

10月27日はハロウィンをします。仮装をして校内をまわり、お菓子をもらいます。技術員室や職員室など、普段なかなか入ることのない部屋に入り、お菓子をもらうやりとりをします。恥ずかしがらずにやりとりできるよう、クラスで練習をしてから当日を迎えたいと思います。街中でもハロウィンの飾りなどを目にする機会が増えるかと思うので、楽しみにできるようご家庭でもお話してみてください。

（「幼2 10月予定」より引用）

小学部

～ 常盤台小学校交流 ～

9月11日（金）に常盤台小学校の4年生と交流を行いました。この日まで、各学年で協力して準備をしてきました。司会は4年生です。何度もセリフの練習をしました。3年生はプログラムを作って発表してくれました。1年生のはじめのことばで交流会はスタートしました。ゲームは3つ準備しました。2年生が、フラフープくぐりとボール送りのやり方を実演して6年生と5年生は「もうじゅうがりへいこうよ」や「ろう学校クイズ」を準備しました。「ろう学校クイズ」は、どんなことをクイズにしたらろう学校のことを知ってもらえるかな、楽しいクイズになるかなということを相談しながら作成しました。最後はグループに分かれて学校案内をしました。常盤台小学校の友達からも「学校案内が楽しかった」「もうじゅうがりが楽しかった」という感想をもらい、最後はみんなでにぎやかにお見送りをしました。小学部全員で協力して交流会を成功させることができました。

（「学部だより」より引用）

中学部

～ 修学旅行【9/10～12】 ～

今年度の修学旅行も、京都・奈良に2泊3日で行ってきました。1日目は、京都で清水寺、三十三間堂と平等院鳳凰堂を見学した後、奈良に移動して1泊しました。三十三間堂で、自分と似ている顔の観音様を見つけることを楽しみにしていた生徒は、実際に自分そっくりの観音様を見つけることができたそうです。平等院鳳凰堂では、扉に描かれた「九品来迎図」に感動した様子を「生活と学習の記録」に書いている生徒がいました。2日目は、奈良ろう学校に行き、交流活動をしたあと、奈良ろう学校の生徒と一緒に東大寺を見学しました。地元の中学生から説明を受けることで、東大寺について深く学ぶことができました。奈良ろう学校との交流は、修学旅行前からオンラインで数回行われていたため、打ち解けるのも早く、良い交流ができたようです。奈良ろう学校との交流は、今後も続けられるよう検討していく予定です。

「一人ひとり奈良から祇園四条まで切符を購入して電車移動をする」という目標を立てた生徒は、路線図を見ながら移動するのが楽しかったようです。路線のトラブルで急遽乗り換えをしなければいけない場面もあったようですが、そのトラブルも楽しむことができました。3日目は、丸益西村屋、金閣、伏見稲荷大社を回りました。お天気に恵まれ、気温も高かったのも、伏見稲荷大社の長い階段はきつかったようです。金閣では、ろうそくを購入し、受験の合格祈願をしました。ご利益が必ずあると思います。

今後、修学旅行の様子を作文にまとめます。丸益西村屋で行った友禅染の作品とともに、ときわ祭でご覧ください。
(「学部だより」より引用)

高等部

～ 生徒企画 地域理解 ～

9月11日(金)の生徒企画では、鎌倉を中心に「地域理解」というテーマで活動しました。あいにくの悪天候により、当初、話し合ってきた計画を変更した班もありました。午前は鎌倉駅周辺で班別行動をし、午後は鎌倉彫工芸館で鎌倉彫体験を行いました。

鎌倉彫は、今から約800年前の鎌倉時代から受け継がれている伝統的な工作です。木を削って模様を彫り、その上に「漆(うるし)」を何度も塗り重ねて作られます。昔はお寺の道具や仏像づくりから始まりましたが、今ではお皿やコースターなど、毎日の生活の中で使われています。体験学習では、生徒一人ひとりが彫刻刀を手に取り、作品づくりに挑戦しました。最初は緊張している様子もあったようですが、職人さんの説明を真剣にききながら、とても集中して作業に取り組んでいました。決まったデザインを選ぶ生徒もいれば、自由にデザインを決めて彫る生徒もいました。鎌倉彫の魅力は、手彫りならではの温かみです。完成した作品を手にした生徒たちの表情は達成感でいっぱいでした。世界にひとつだけの宝物になりましたので、ぜひ家庭の中で作品を見せたり体験したことを話したりしてください。

円滑な班別行動のためには、これまでの話合いの積み重ねが重要です。個人であれば好きなことができますが、集団行動だと他人への気遣いや思いやりが求められます。相手の気持ちや立場を尊重し合いながら、学年を超えてお互いの親睦を深めることができました。
(「学部だより」より引用)

通級指導教室

～ 7月8日(水)難聴グループ学習を行いました ～

今年度第一回目の難聴グループ学習で、14名の中学生在が集まり3グループに分かれて行いました。

事前学習や開始前に自分についての情報をワークシートに記入し、それをもとにメンバーで発表し合ったり、語り合ったりしていきました。初対面、または、顔見知り程度というメンバーでしたが、それぞれが相手の話にうなずいたり質問したりする様子がみられ、お互いに話を聞いての共感、自分とは違うと思うことなど様々な気づきが得られる機会となったようです。

(「たけのこ(中学・高校生版)」より引用)